

自走タイプツイン刈払機

高所作業車も関心度上々

フジイ 実演会で即購入のケースも



藤井社長

ここ数年、降雪が多く、除雪機は品切れ傾向が続いている。そんな中で専門メーカーのフジイコーポレーションは出荷のピークを迎え、この状況は今月末まで続く見通し。一方、同社では昨年10～11月にかけて、業界初の自走ツイン刈払機「Coria」とワイドクローラ仕様の高所作業車をたて続けに発表した。その後の展示会などの評価は良好だという。

フジイコーポレーション

は次の通り。

藤井大介社長、新潟県燕市小池285が昨年10～11月にかけて発表した自走ツイン刈払機「Coria」(コルタ)MH502M/コルタはスペイン語で刈るの意味「ワイドクローラ仕様」高所作業車」の概要

【自走ツイン刈払機「コルタ」MH502M】業界初の自走式。①刈取部が前方にある(作業者から離れている)ため、安全に作業できる。バックカバーや側面カバーが作業者を飛来物から守る②操作するのは、スロットルレバーとクラッチレバーだけ。スロットルレバーから手を離すと走行がストップする③機体重量は30kgで取り回しが楽。ハンドルを折りたたみは運搬や収納時は更にコンパクトに④動力伝達にベルトを一本も使わない独自機構。ベルト交換の煩わしさが無いなどが主な特長。希望小売価格は16万1700円(税込)

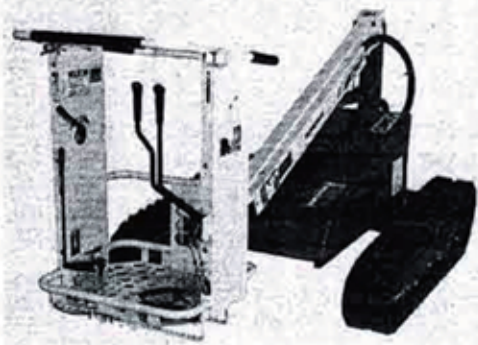
【仕様】▽刈幅 最大500mm▽適応草丈 500mm▽重量 32kg▽寸法(全長×全幅×全高) 990×540×880mm▽エンジン 空冷2サイクル42・7cc、リコイクトで旋回などの操作が

しやすく、保管スペースも小さい(全長2440mm)▽軌間距離1120mm)②機体全幅が40mm増加、機体重量も40kg増加したこと、転倒傾斜角が当社標準仕様機に比べ約2度向上し広範囲での作業を実現。機体全幅が1280→1320mm。機体重量が335→375kg③走破性が向上。クローラ幅が200mm幅のクローラを採用したこと、平均接地圧が標準仕様機に比べ12%減少。悪条件化でも安定走行を実現。クローラ幅160→200mm④油圧ブームはゴンドラ足元のペダルで簡単操作⑤出入りがしやすい開閉式安全ハンドル、二重ロックにより誤動作による外れを防止など、安全で快適なゴンドラ⑥様々なメンテなどが主な特



自走ツイン刈払機「コルタ」

【高所作業車250M1】「より安定感があり走破性の高い機種を」の要望を受けて開発した商品①充実した装備と最適な重心バランス。コンパクトで旋回などの操作が



ワイドクローラ仕様の「高所作業車」

△水平、作業台中心)mm▽全長 2440mm(台業)mm▽台降下時作業台上端)mm▽全幅 320mm(クローラ)mm▽全高 1600mm

長。希望小売価格は71万4000円(税込)。柱から作業台)▽重量 375kg▽エンジン 空冷4サイクル、6・3ps▽走行速度 1・9km/h。両機種とも出荷は春。移動範囲 2600(ブーム旋回角 左右37度)▽重量 2600(ブーム旋回角 左右37度)移動範囲 2600(ブーム旋回角 左右37度)